

「スポーツと広聴広報に関するアンケート」の実施結果報告

「スポーツと広聴広報に関するアンケート」の実施結果を次のとおり報告します。
アンケートにご協力くださいました回答者の皆さんに厚く御礼申し上げます。
アンケート結果につきましては、今後の広聴広報業務の参考とさせていただきます。

アンケートの概要

1 アンケート実施期間

平成28年2月18日（木）から3月6日（日）まで

2 回答状況

対象者数 1,206人

回答者 767人

回答率 63.6%

3 回答者の属性

性別 男性 404人(52.7%)

女性 363人(47.3%)

年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	66人	156人	182人	163人	159人	41人
割合	8.6%	20.3%	23.7%	21.3%	20.7%	5.4%

地域別

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人数	375人	207人	103人	60人	22人
割合	48.9%	27.0%	13.4%	7.8%	2.9%

*北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、桑名郡、員弁郡、三重郡

中勢：津市、松阪市、多気郡

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡

伊賀：名張市、伊賀市

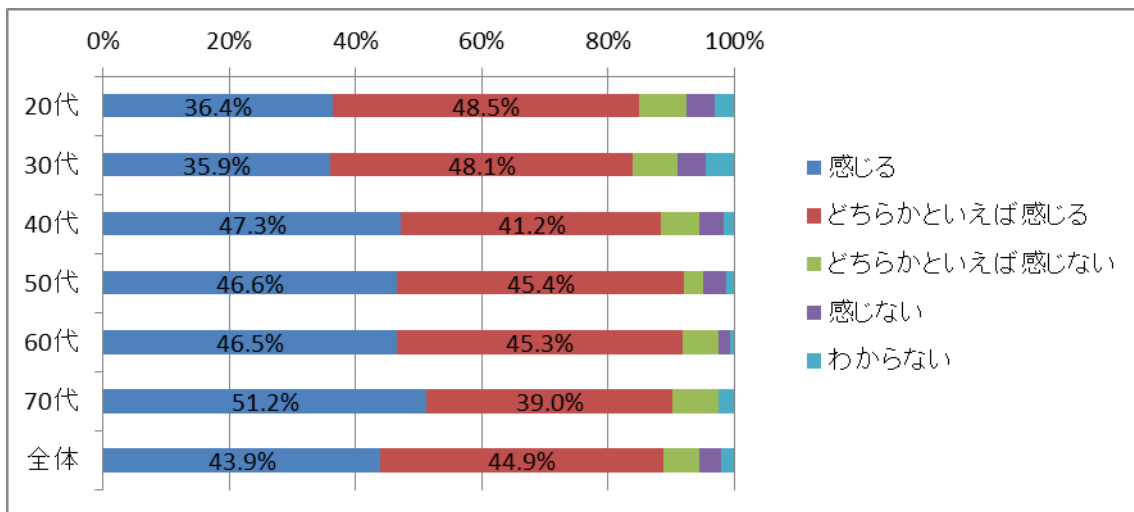
東紀州：尾鷲市、熊野市、北牟婁郡、南牟婁郡

アンケートの結果

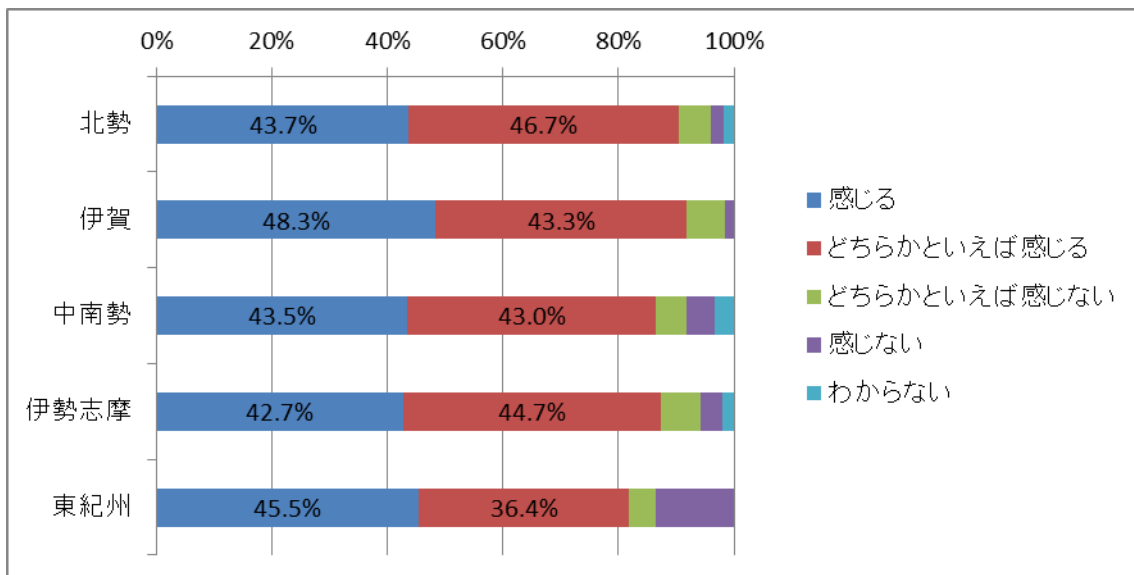
【設問1】スポーツについて（スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じるか）

〈感じる〉43.9%、〈どちらかといえば感じる〉44.9%となり、計88.8%の方が「スポーツを通じて夢や感動が育まれている」と回答しました。

年代別では、〈感じる〉と答えた人の割合は、高い年代の方が低い年代より比較的高くなっています。



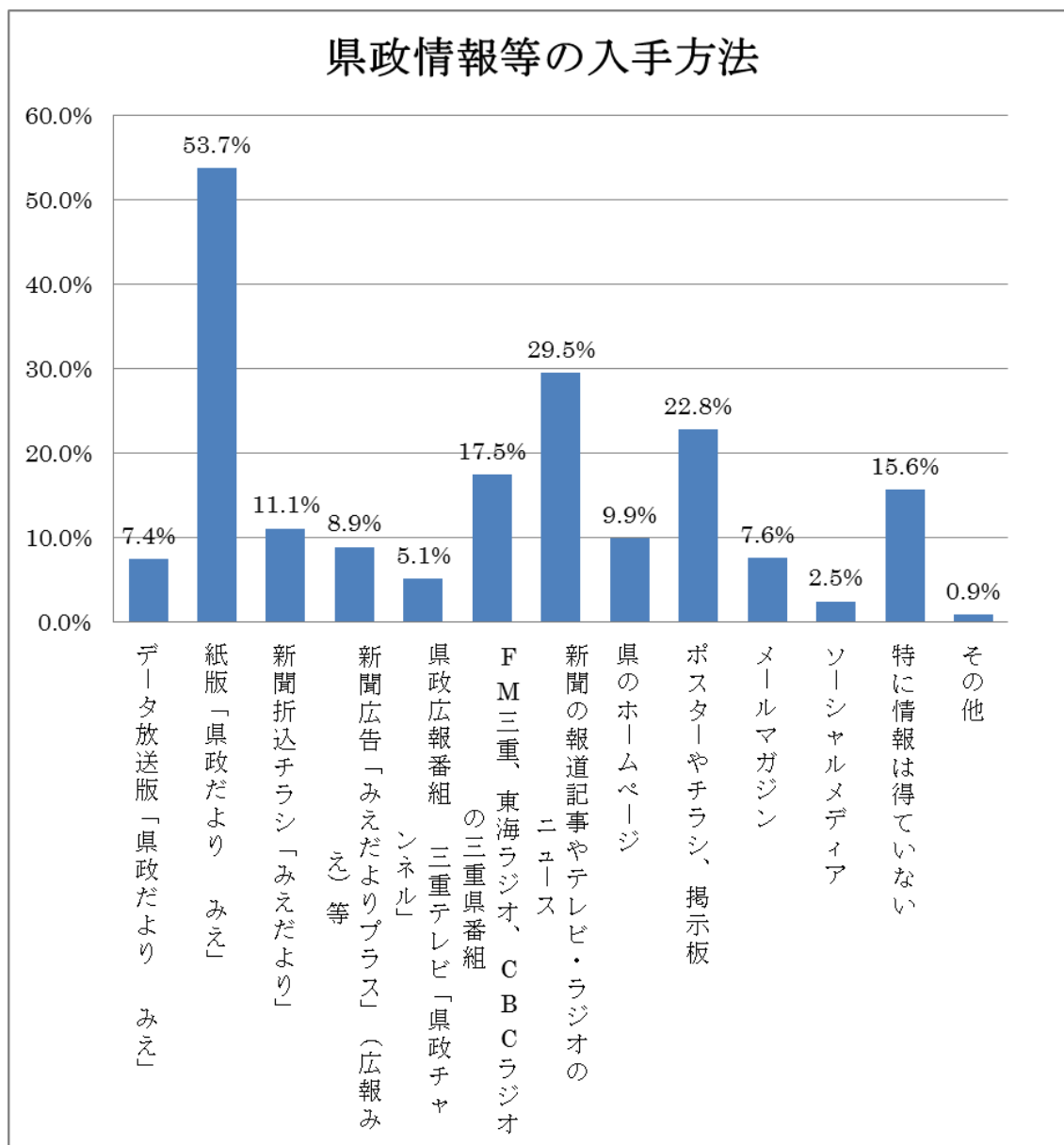
また、地域別では、〈感じる〉または〈どちらかといえば感じる〉と回答した人の割合は、いずれの地域においても80%を超えています。



【設問2】現在の県政情報等の入手方法について（複数回答可）

県の事業やイベントなどの情報源については、「紙版『県政だより みえ』」が53.7%と最も多く、次いで、「新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュース」が29.5%、「ポスターやチラシ、掲示板」が22.8%などとなっています。平成26年4月から開始した「データ放送版『県政だより みえ』」は7.4%でした。

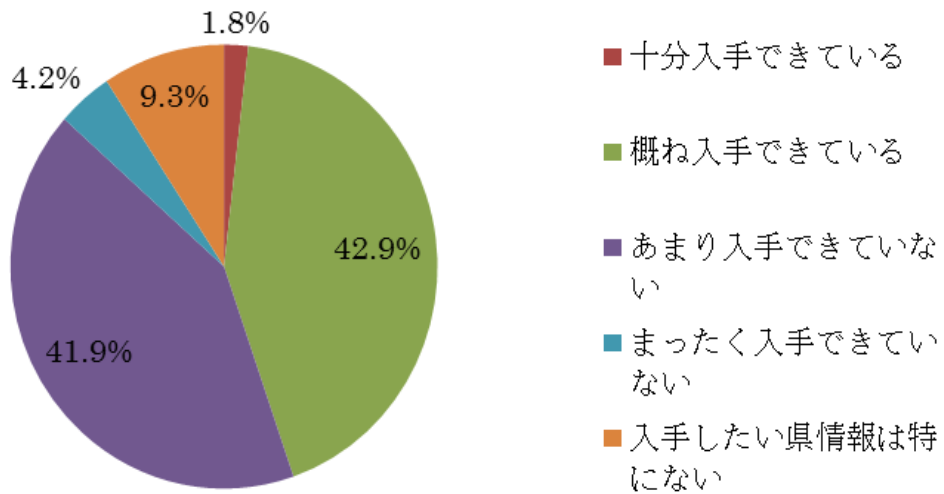
県民の皆さんの情報入手手段が多様化していることから、より効果的に広報活動を実施するため、平成 28 年 4 月からは、広報紙、データ放送、インターネットによる広報をリニューアルし、それぞれの媒体の優れた点を生かした役割分担を行うことで、県の情報をより分かりやすく、適切に発信していきます。



【設問 3】 県の情報入手状況について

得たい県の情報について「十分入手できている」、「概ね入手できている」を選択した方は、合わせて 44.7%（343 人）となっている一方で、46.1%（353 人）の方は「あまり入手できていない」「まったく入手できていない」と感じておられます。県民の皆さんに県政情報を的確にお届けできるよう、さまざまな媒体の特性を生かし、より積極的な情報発信に取り組んでいきたいと考えています。

県の情報入手状況

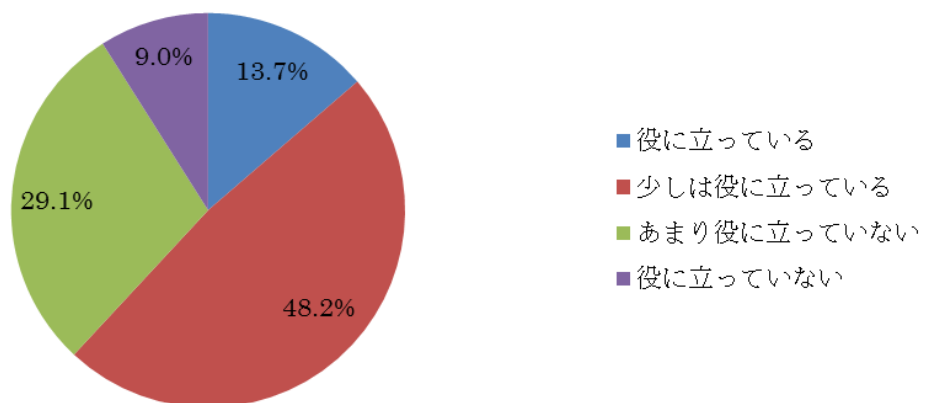


【設問4】「県政だより みえ」について

「県政だより みえ」の有用度についてお尋ねしたところ、「役に立っている」方が13.7%、「少しは役に立っている」方が48.2%で、合わせて61.9%となっています。

約6割の方から評価していただいておりますが、この評価をさらに高められるよう、今後も読みやすい紙面づくりや掲載内容の充実などに努めていきます。

「県政だより みえ」に対する満足度

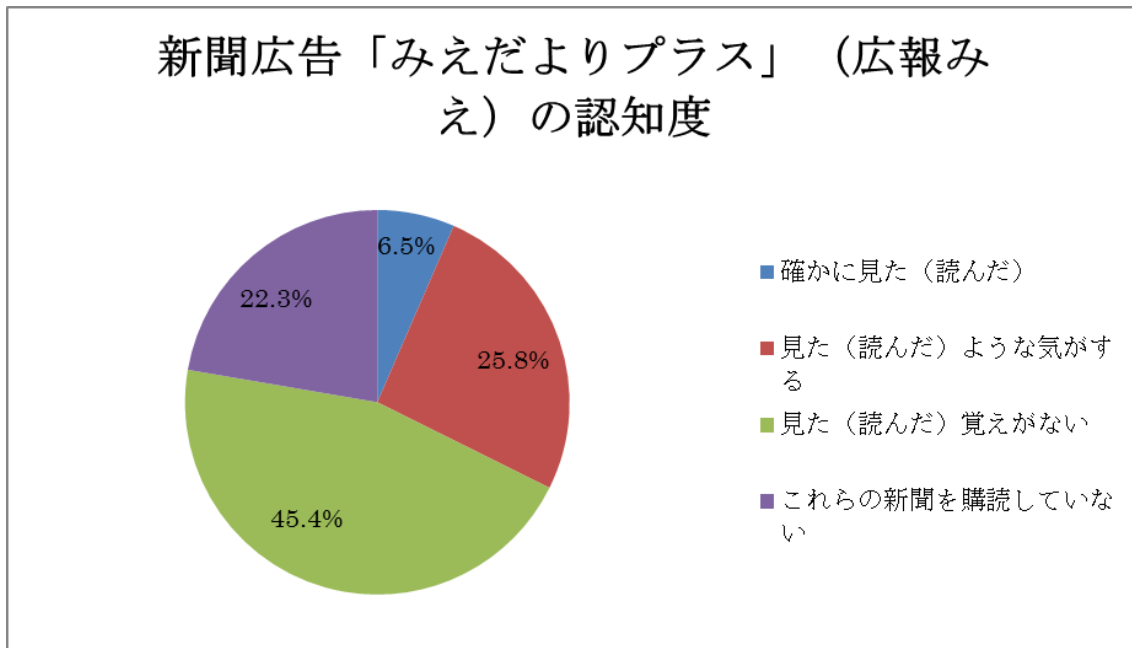


【設問5】新聞広告「みえだよりプラス（広報みえ）」について

県が発信する新聞広告「みえだよりプラス（広報みえ）」の認知度については、「確かに見た」「見たような気がする」を合わせると32.3%（248人）となっています。

また、年代別に分析すると、「確かに見た」「見たような気がする」を合わせると、20代では9.1%、30代21.2%、40代25.3%、50代34.4%、60代49.1%、70代以上70.7%と、年代が高くなるにつれて、新聞広告の効果が高いことが確認できます。

今後は、新聞広告「みえだより（広報みえ）」を「確かに見た」人の割合を高めるため、タイムリーな掲載時期の設定をはじめ、広告そのものが印象に残るような内容やレイアウトにしていく必要があります。



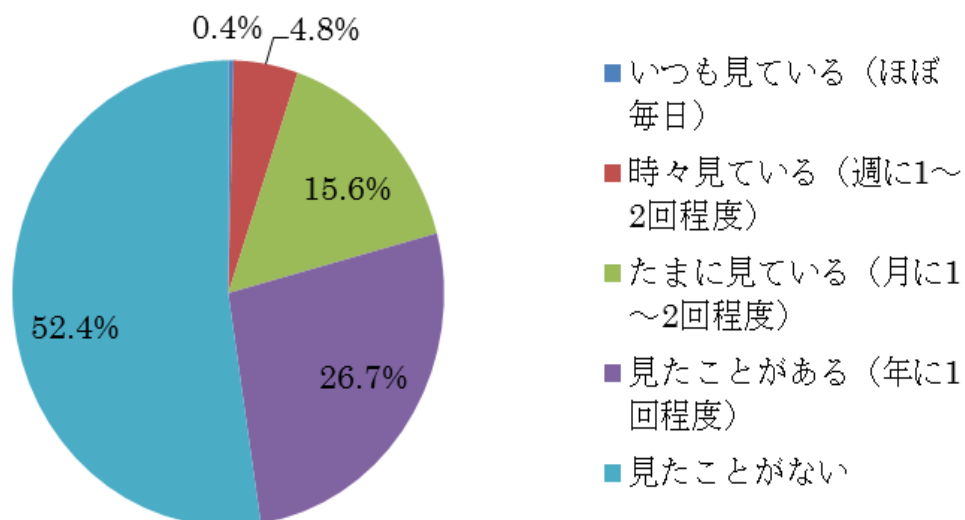
【設問6】データ放送の視聴状況について

三重テレビのデータ放送についてお聞きしたところ、「いつも見ている」「時々見ている」「たまに見ている」「見たことがある」とご回答いただいた方の合計は47.5%と、約半数の方にデータ放送を認知していただいていることが分かりました。

一方で、日常の視聴習慣となっている「いつも見ている」「時々見ている」「たまに見ている」とご回答いただいた方は20.8%にとどまっていることから、データ放送の視聴の定着化に向けて、画面の見やすさや操作性の向上などに工夫が必要です。

なお、年代別に分析すると、20代では21.2%、30代10.9%、40代17.6%、50代21.5%、60代26.4%、70代以上48.8%となっています。

データ放送の視聴状況

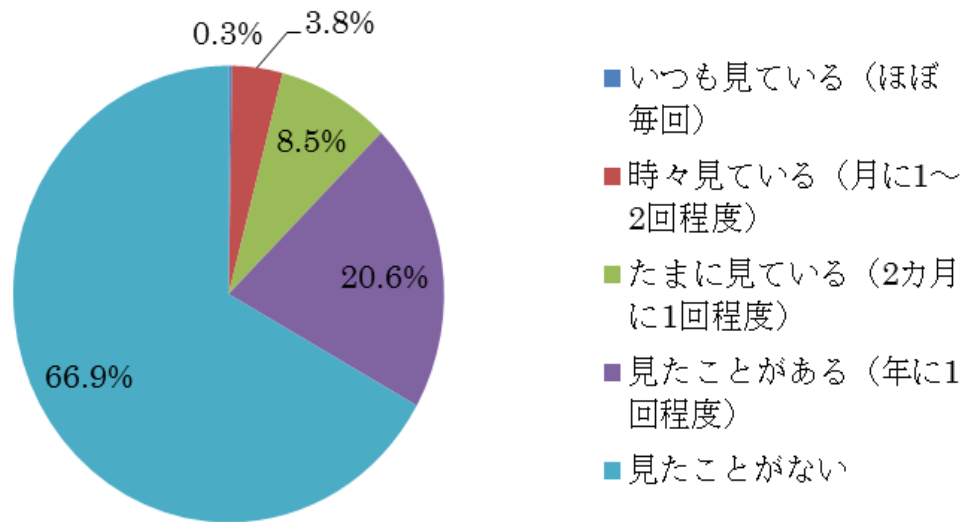


【設問7】 テレビ県政広報番組の視聴状況について

テレビ県政広報番組「県政チャンネル」については、「いつも見ている」「時々見ている」人の割合が全体で 4.1% (31 人) となっています。また、年代別に分析すると、視聴習慣となっている「いつも見ている」「時々見ている」「たまに見ている」とご回答いただいた方は、20代では 6.0%、30代 5.8%、40代 12.1%、50代 10.4%、60代 22.0%、70代以上 22.0%となっており、各世代ごとに数値に違いが表れています。

一方、見たことがない方は、66.9% (513 人) となっていることから、今後も各世代に見てもらえるような番組制作に心がけるとともに、「県政だより みえ」や県ホームページとの連動や、番組そのものの広報に努め、番組の認知度を高める取り組みが必要です。

テレビ県政広報番組の視聴状況

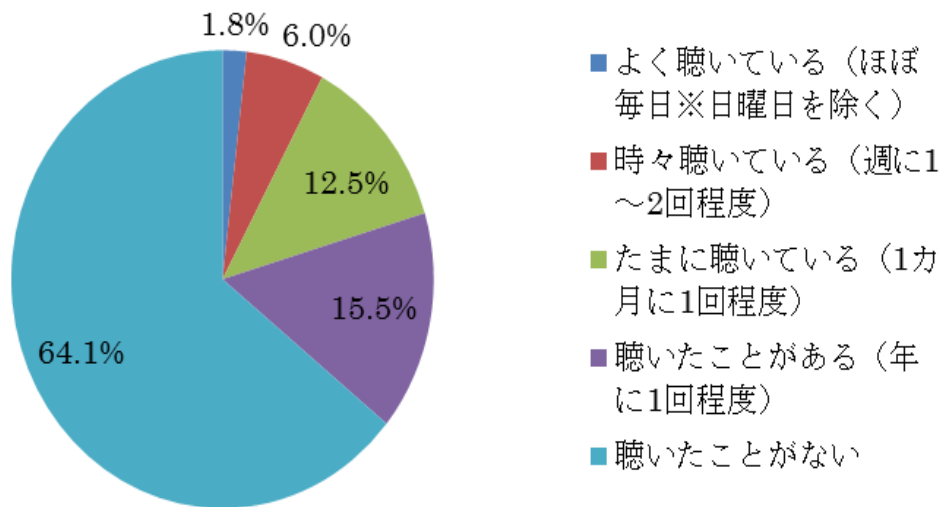


【設問8】ラジオ県政広報番組の聴取状況について

FMとAMで放送しているラジオ県政広報番組については、「よく聴いている」「時々聴いている」人の割合が全体で7.8%（60人）となっています。また、年代別に分析すると、視聴習慣となっている「よく聴いている」「時々聴いている」「たまに聴いている」とご回答いただいた方は、20代では18.2%、30代11.5%、40代22.0%、50代21.5%、60代24.5%、70代以上29.3%となっており、テレビよりも数値が高くなっています。

ラジオは家の中だけでなく車内で聴かれる方も多いうえ、携帯性を発揮する広報媒体でもあるため、災害情報などの緊急性の高い情報はもちろん、県政情報や生活情報、安全・安心情報、防災情報なども積極的に発信することに努めていきます。

ラジオ県政広報番組の聴取状況

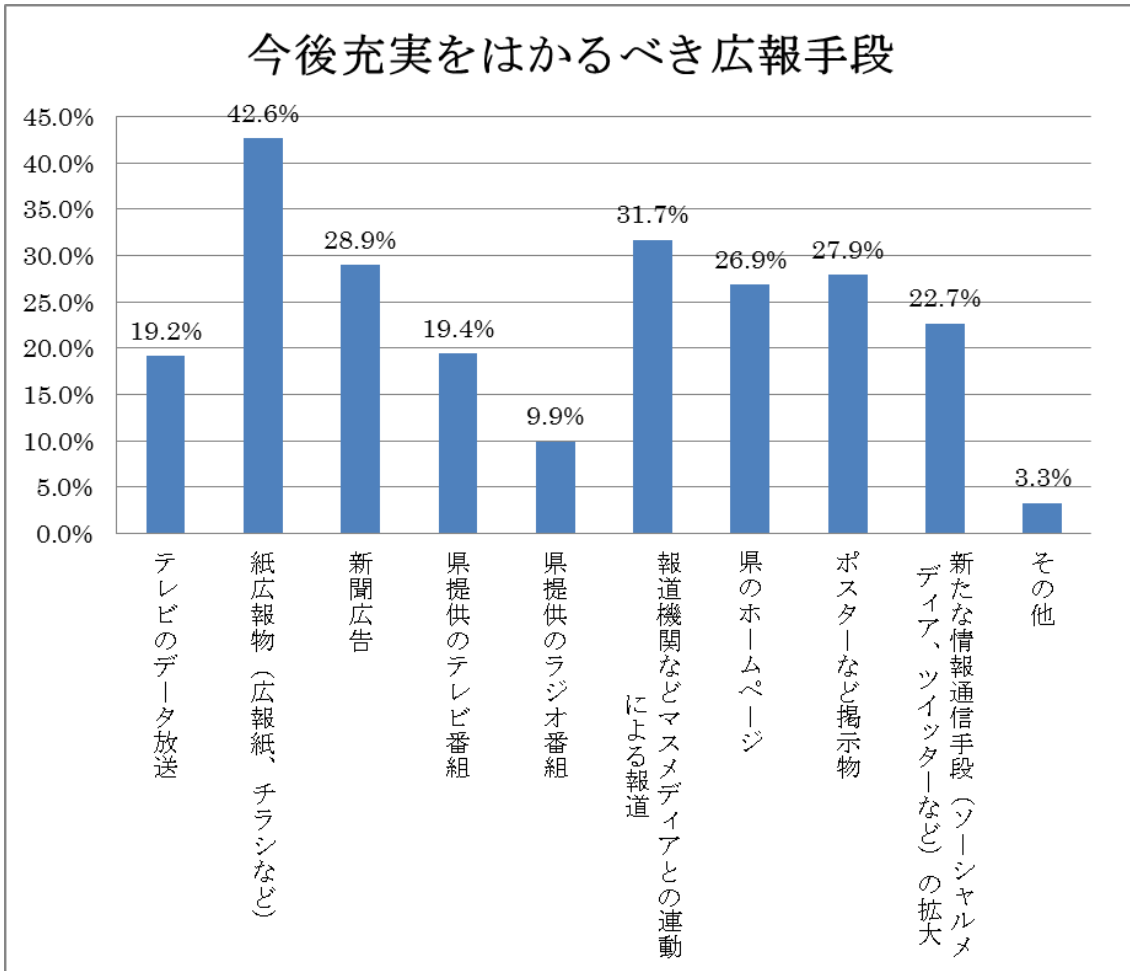


【設問9】 今後充実をはかるべき広報手段について（複数回答可）

今後、充実をはかるべき県の情報提供の方法については、「紙広報物（広報紙、チラシなど）」が42.6%と最も多く、次いで「報道機関などマスメディアとの連携による報道」が31.7%となっています。そのほかにも「新聞広告」、「ポスターなど掲示物」、「県のホームページ」、「新たな情報通信手段（ソーシャルメディア、ツイッターなど）の拡大」がいずれも20%を超えるなど、県民の皆さんがさまざまな広報手段を活用している状況にあります。

特に、ソーシャルメディア等を活用した情報提供へのニーズが昨年度調査結果以上に高まっている（18.3%→22.7%）ことから、新しい時代に対応した情報発信が求められています。その他、「報道機関などマスメディアとの連携による報道」（25.5%→31.7%）や「ポスターなど掲示物」（22.3%→27.9%）も、昨年度調査結果時以上に充実をはかるべき手段として期待されています。

これらのことから、県民の情報入手に関するさまざまなニーズに対応し、広報紙、インターネット、データ放送等の活用なども含め、各媒体の特性を生かした効果的な情報発信に努めていきたいと考えています。



【設問 10】 e－モニターアンケートに参加したご感想について

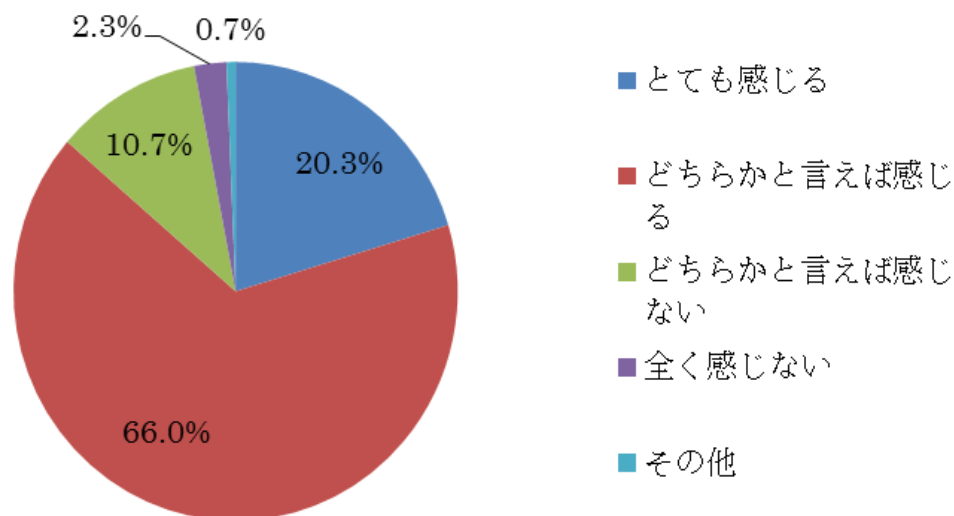
（三重県政を身近に感じるようになったか）

e－モニターアンケートに参加して、県政を身近に感じるようになったかをお尋ねしたところ、「とても感じる」「どちらかといえば感じる」を選んだ方が、86.3%となり、ほとんどの方が県政を身近に感じるようになったとお答えいただきました。

一方、「どちらかといえば感じない」「全く感じない」を選んだ方の割合は、13.0%となっています。

モニターの皆さんが、県政に興味を持ち、県政を身近に感じていただけるアンケートとなるよう引き続き努めてまいります。

三重県政を身近に感じるようになったか



【設問 11】 e－モニターメールマガジンに対するご意見について

設問 11 では、毎月 1 回、モニターの皆さんに三重県の情報を配信しています「e－モニターメールマガジン」について、感じたことやご意見、ご提案について自由にお答えいただきました。

その中で、「文章が読みづらく、難しい言葉が多いので親しみやすい文章にしてほしい」「文字だけでなくイラストや写真を添付してほしい」とのご意見、ご提案をいただきました。今後、モニターの皆さんにとって少しでも読みやすいメールマガジンとなるよう、検討してまいります。

また、送信回数や情報量、お伝えする情報の内容などについても、たくさんのご意見、ご提案をいただきましたので、今後の「e－モニターメールマガジン」の配信に向けての参考とさせていただきます。

【設問 12】 e－モニターアンケートに対するご意見について

設問 12 では、1 年間、e－モニターアンケートにご参加いただいた経験をもとに、感じたことやご意見、ご提案について自由にお答えいただきました。

アンケートに回答いただいた 767 名の半数を超える 406 名の方から感想やご意見、ご提案をいただきました。本当にありがとうございました。

「県が行っていることに関心を持つようになった」、「県の仕事を知ることができた」、「イベントに参加するようになった」など、アンケートを通して、県政を身近に感じるようになったとの感想を多くの方からいただきました。

また、「パスワードを自由に変更できるようにしてほしい」「手間なくログインできるようにしてほしい」とのご意見をたくさんの方からいただきました。平成 28 年 4 月からモニ

ターの皆さんがパスワードを自由に変更できるようにするとともに、ログイン時にIDを記憶させる機能を追加し、パスワードの入力だけでログインができるようにしましたので、ご活用ください。

今回いただきましたご意見、ご提案につきましては、モニターの皆さんが利用しやすく、より県政へのご意見をお聞かせいただくための参考とさせていただきます。